

コール

原発いらない / 再稼働反対 / 川内原発再稼働反対 / 原発廃炉 / 命が大事
/ すべて廃炉 / 子どもを守れ / 海をよごすな / 空をよごすな / 輸出やめろ

シュプレヒコール

- 原発はいらない！ どこにもいらない！ 電気は足りてる！
 - 事故は収束してないぞ！ 放射能は漏れてるぞ！
 - 汚染水を海に流すな！ きれいな海を返せ！
- 原発公害を許さないぞ！ 情報を隠すな！
 - 東電は責任をとれ！ 被曝作業員を守れ！
 - 国は責任をとれ！ 原発ゼロを決めろ！
- 原発再稼働反対！ 核燃サイクル反対！
 - 原発の輸出反対！ 原発利権を許すな！
 - 福島を見捨てるな！ 子どもの未来を奪うな！

起訴へ！

9.30院内集会 & 東京地検アクション

- 9月30日(火)
- 衆議院議員会館

11:30～(通行証配布)
12:00～院内集会(講堂)

団長挨拶・弁護団長挨拶・解説・今後の見通し・告訴人スピーチ等

14:00～14:40
東京地検前行動

問合せ：福島原発告訴団
<http://kokuso-fukushima-genpatu.blogspot.jp/>

公開シンポジウム

「原発再稼働にNO！脱原発政策大綱と原発ゼロ社会への行程」-原子力市民委員会からの提言-

- 10月16日(木) 13:00～16:30
- 東京ウィメンズプラザ(表参道駅B2出口より徒歩7分) 資料代500円 事前登録不要
- ①基調講演 「脱原発政策大綱：原発ゼロ社会への行程」
大島堅一さん(立命館大学教授・原子力市民委員会：
原発ゼロ行程部会長)
- ②原発立地点からの報告
川内原発～グリーンコープ鹿児島/女川原発～あい
コープみやぎ/福島～生活クラブふくしま
- ③報告「各地の原発住民訴訟から原発再稼働の問題点を
見る」海渡雄一さん(脱原発弁護団全国連絡会共同代表、
脱原発法制定全国ネットワーク事務局長)

主催：阻止ネット(「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能
汚染を阻止する全国ネットワーク)
<http://www.soshinet.org/activities/20141016sympo>

次回 **原発はいらない西東京集会&デモ** は
1月12日(月・祝)午前 を予定しています。

時間、会場、デモコース等 詳細は追って当会ブログにて
お知らせしますので、アクセスよろしく!

原発系デモ情報はこちら <http://www47.atwiki.jp/demomatome/>

2014

9.28

第14回

原発はいらない西東京集会&デモ



[We are all downwinders. : 全人類は風下の人。]

- 集会 16:00～
市立東伏見公園(東伏見1丁目)
- デモ 16:30～17:30
市立東伏見公園～東伏見稲荷神社参道～東伏見駅南口
～踏切～かえで通り～新青梅街道～調布保谷線～都立
東伏見公園
- ゲンパツイラナイト 17:30～18:30
都立東伏見公園(東伏見1丁目)

主催 原発はいらない西東京集会実行委員会

Blog : <http://nonuke-ntyococolog-nifty.com/>

E-mail : nonuke-ntyococolog-nifty.com Twitter : @nonuke_ntyo

郵便振替: 00100-9-679030 口座名: 原発はいらない西東京集会

第14回 原発はいらない西東京集会アピール

私たちは、川内原発再稼働に反対する。

九州電力は、原子力規制委員会が新基準クリアのお墨つきを与えた最初の原発である川内原発を、今冬にも再稼働しようとしている。

福島第一原発事故を真摯に受け止めるなら、「核」のコントロールは不可能であることが分かる。

事故後4年目を迎えてもなお、放射性物質の放出は続き、大気を汚染している。汚染水は増え続け、海洋にも漏れ続けている。

高濃度に汚染された事故現場では、被曝労働なしには作業が進まない。

事故の後始末は難題の山で、終わりが見えない。

汚染物や廃棄物処理の目途もたたない。

いまだに、13万人を超える人々が避難生活を余儀なくされ、

放射能汚染地に残る人々の不安も計り知れない。

命を落とす人々が増え、

生態系を壊し、健康被害をもたらし、穏やかな暮らしを奪う「核」を、

私たちは受入れることができない。

私たちはどの原発の再稼働にも反対する。

原発を1年以上動かさずとも、この社会は機能してきた。

しかも、電力供給量にはまだ余裕がある。

私たちは原発なしで十分やっつけられることが実証されている。

この程、九州電力は、出力10キロワット以上の再生エネルギーの新規購入の中断を発表した。

送電線の受け入れ容量が足りないというのがその理由だが、

原発に比べれば、容易な工事でできることだろう。

申請分を全て接続すると、太陽光と風力で、九電管内の夏のピーク時需要の約8割の能力ベースになるという。

すぐにも再生エネルギーで100%供給できることは明らかだ。

川内原発再稼働などもっての外である。

原発から再生エネルギーへの転換を進めよう。

私たちは、すべての原発の再稼働に反対する。

原発はいらない。どこにもいらない。私たちは、福島で、日本中で、世界中で「原発NO!」の意思表示を続ける運動と連帯し、行動する。

2014年9月28日 原発はいらない西東京集会参加者一同

全原発稼働ゼロが1年以上続いています。電力不足はありません。しかし、全ての電力会社は原発再稼働の申請をしています。国は「核」技術の温存・維持を目論み、再稼働を後押しています。

